

千代田界隈のレトロな風景



紫花菜（むらさきはなな）

通称「花だいこん」。春の訪れを鮮やかな紫色で届けてくれます。

み
ど
り
の
風

2020.5.1
-NO.260-

人・ひと日記

小林 功

花だいこんは菜の花と同じころ、鮮やかな春の彩りを運んできます。江戸時代に中国から伝来。三国志に登場する諸葛孔明（しょかつこうめい）が出陣の先々でこの種をまき、兵士の食糧となるよう栽培したということです。私は食べた事はありませんが調べてみると、花の形が大根と似ているが根の部分は食べない。花や葉をさつと茹でておひたしにする。中国では卵や豚肉と炒めて食べるのが一般的。てんぷらや甘酢漬けもお勧め。菜の花を食べるのと同じように考えればよいのでしょう。植物にはいろいろな呼び方がありますが花だいこんの呼び方のひとつは「紫花菜（むらさきはなな）」。なんとも魅力的な名前だと思います。

コロナ禍は衰えずテレビでは連日、今日の感染者数、繁華街の様子、病院の大変さが報道されています。いつになつたら終息するのか？見通しを述べるコメントーターはない。ただ毎日新聞の小さなコラム欄での元WHOの科学者の発言が気になる。「国民の70%が感染し、免疫が広がる。その時点で終息が見えてくる」ワクチンの開発は相当難しく、時間もかかるといわれている。「自分もいつかは感染する」と考えたほうが良さそうだ。とすれば国で今おこなわれている施策は医療崩壊を防ぐための時間との闘いと理解できる。

四月七日緊急事態宣言が発令。人ととの接触機会を減らすために企業や施設や店舗、人に様々な行動制限が法律の下で行われようになりました。介護サービスについては特養など入所施設は対象外ですが通所サービスや短期入所は支援が必要な利用者は継続して対応するよう要請していますが状況により休業や縮小が要請される可能性があります。「三密」、「80%」問題を額面通りクリアできない在宅介護サービスのこれからが憂慮されます。過酷な医療現場で働く医療従事者へのリスクが広がっています。同じように不安の中で懸命に取り組んでいる介護従事者にも感謝とねぎらいの言葉を送りたいと思います。

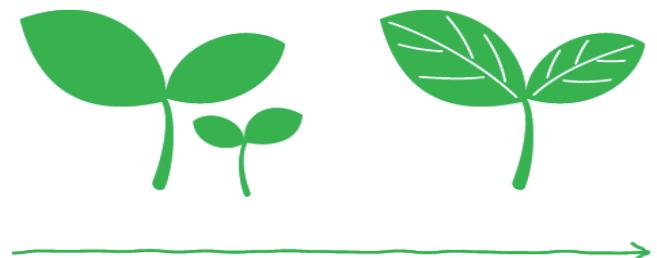
発行	社会福祉法人 悠朋会
	相模原市中央区千代田2-4-1
千代田介護支援センター	042-704-0261
ヘルパーステーション千代田	042-751-0672
児童クラブ いちばん星	042-704-0281

ホームページアドレス
www.yuhokai-kaigo.com

ステンシルによるエコバッグ作り



見本を見ながら自分達で型選びし、職員と話し合いながら創意工夫を凝らしつくりました。色合いなども自分で考え、選びながら素敵なStencil付きのエコバッグが完成しました。
出来上がったエコバッグは持ち帰っていただき、ご自宅で活用して頂いています。



5月の予定



しょうぶ湯

1日（金）～7日（木）

体重測定

4日（月）～10日（日）

誕生会

25日（月）～31日（日）

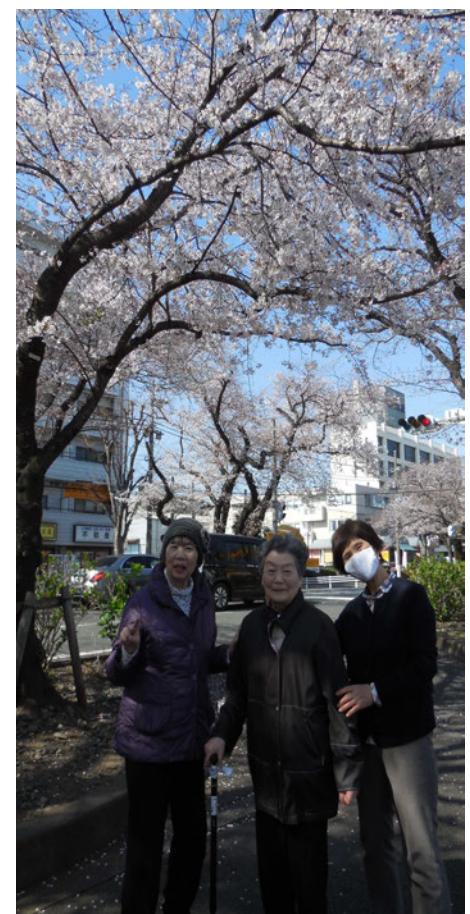


桜の花見散歩



デイサービスの目の前にある市役所通りの桜が今年も満開！！

今年は暖冬で桜の開花も早かったです。センターすぐの桜も3月中旬からちらほら開花し始め、季節の移ろいを目の前で感じ取ることが出来ました。今年は桜祭りはありませんでしたが、ちょっとだけお祭り気分を味わいながらお散歩が出来ました。



職員随走リレー ～其の十三～



ヘルパー千代田
塚田光代

義母は現在85歳。東京の渋谷で生まれ育ち、渋谷に住んでいた当時の日課が家から徒歩2分の所にあるデパートを屋上から地下まで見て楽しむ事だったとても元気な方です。

私は25年前に結婚し主人の実家の三軒隣りのビルの一室を借りて住んでいて、週2回は主人の実家に行つて一緒に食事をしていました。その頃、義父が躓きや転倒が続き検査を受け、脊髄小脳変性症と診断され、5年後には歩くことが不自由になると言われたそうです。

実家は5階建ての階段しかない建物で5階が自宅でした。主人から家を買って両親と同居をして欲しいと言われ、義父は婿養子でとても苦労した分、嫁に来た私をとても可愛がってくれた大好きな方だったので即答で同居を了解しました。

主人の会社が橋本なので相模原市で一戸建てを探して同居が始まりました。思つていた以上に義母との考え方が合わず大変で何度も家出を考えましたが、段々身体が動かなくなり言葉も話辛くなつても、いつも私の味方になつてくれた義父のおかげで頑張れました。

そんな優しい義父が同居4年で亡くなりました。義父の看病が無くなり外出好きな義母は週3回程渋谷や新宿に行ってデパート巡りをしたり、橋本の図書館や映画館に行く等必ず毎日出かけていました。

そんな元気な義母が5年前から物をなくしたり、玄関のドアノブに鍵を入れたまま外出したりが増え、段々と家で寝ている事が多くなり、何度も同じ事を聞くようになつたので心配になりました。義母は40歳台の頃から糖尿病で通院しながら自分で気を付けていたのですが、認知症が進み満腹中枢が侵され、夕食用に作つて置いた煮物5人分を全部食べてしまつたり、置いてあるお菓子や冷蔵庫の中の物を殆ど診断されました。義母は40歳台の頃から糖尿病で通院しながら自分で気を付けていたのですが、認知症が進み満腹中枢が侵され、夕食用に作つて置いた煮物5人分を全部食べてしまつたり検査を受けると、アルツハイマー型認知症と診断されました。義母は40歳台の頃から糖尿病で通院しながら自分で気を付けていたのですが、認知症が進み満腹中枢が侵され、夕食用に作つて置いた煮物5人分を全部食べてしまつたり

食べたりしてしまいますが、本人には記憶がないので聞いても「私は食べていない」と言うばかり。ついには血糖値の数値が悪すぎて病院に呼ばれ、その日から私が義母の食事管理をするようになりました。家族とは別の糖尿病食を作り、食べ物は全部隠すことを続け、やつと白糖値を下げる事が出来ました。生活面では10年以上使つてはいるポットのお湯の出し方が分からなくなり、ポットの蓋を開け急須を入れようとしたが、ポットのお湯を出したらお茶が出てきて、慌てて蓋を開けるとお茶の葉が入つていたりと、びっくりすることがあります。

爪は義母が自分で切るのですが少しすると切つたことを忘れ、また爪を切る。それを一日何度も繰り返し、気づくと血だらけになつてしまつっていました。そのため爪切りを隠したのですが、次の日からハサミで爪を切り、また血だらけに。今度はハサミを隠したら次の日にはなんと包丁で切ろうとしていてビックリ。我が家はありません。普段食べないちょっとと高めのランチングを買つたり、食べたことない冷凍食品にチャレンジしたり。楽しみはどこにでもあるものですね。H

る前に「行つてきます」お風呂に入る時に「いらっしゃま」等正しくない言い方が増えていませんが、否定せず「ハイ」と返事をすると笑顔を見せてくれます。子供達も注意はしないで「おばあちゃん面白いね」というと義母には喜め言葉のようで嬉しそうな顔になり、孫を褒めてお互いに楽しそうに話しています。義母の楽しみは週6日行くデイサービスです。毎日喜んで行ってくれるので私も仕事を続けることが出来て感謝しています。

大変なことも沢山ありますが、これからも家族5人笑いの絶えない明るい家庭で楽しく義母が過ごせるようにしていきたいです。



塚田光代
ヘルパーステーション千代田 勤務
パートナー職員。
持ち前の明るさと元気の良さで、
利用者からも職員からも信任厚い。

編集後記

コロナの影響があり、外出と言えばOKストアがらいになっています。もはや食べることしか楽しみがありません。普段食べないちょっとと高めのランチングを買つたり、食べたことない冷凍食品にチャレンジしたり。楽しみはどこにでもあるものですね。H